

第三段階 初期ユダヤ教宣教

B. 弟子作りの輝かしい最初の週

5. 7日目: イエスが最初の奇跡を起こす

デイリージーザスニュース #035

ヨハネ2.1-11

1 三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があった。イエスの母もそこにいた。2 イエスと弟子たちも婚礼に招かれていた。

3 ぶどう酒がなくなったとき、イエスの母はイエスに、「ぶどう酒がもうありません」と言いました。

4 「婦人よ、それはわたしとあなたにどんな関係があるのですか。」イエスは答えました。 *「わたしの時はまだ来ていません。」*

5 彼の母は召使たちに言った、「あの人が言うことは何でもしなさい。」

6 近くには、ユダヤ人が儀式的の清めに使う石の水がめが六つ置いてあり、それぞれ二十から三十リットルの容量がありました。7 イエスは召使たちに、 *「水がめに水を満たしなさい」と命じました。* それで彼らはそれを縁まで満たした。

8 そこで彼は彼らに指示を与えた。 *「さあ、少し汲んで、宴会の世話役のところへ持って行きなさい。」*

9 彼らはそのとおりにした。宴会の世話役は、ぶどう酒に変わった水を味見した。彼はそれがどこから来たのか知らなかったが、水を汲んだ召使たちは知っていた。そこで彼は花婿を呼び寄せて、10 言った。

「誰もが最初に上等なワインを出し、客が飲み過ぎた後に安いワインを出すのですが、あなたは今まで一番良いワインを取っておいてくれました！」

11 イエスがガリラヤのカナでなさったことは、イエスのご自身の栄光を現す最初のしるしであった。そして、弟子たちはイエスを信じた。

==--==--==--==--==--==--==--==--==--==--==--==

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルーク = ^L、ジョン = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き

第三段階 初期ユダヤ教宣教

文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、*イエスの言葉は赤の斜体で表記されています。*
旧約聖書からの引用は大文字で表記されています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ガリラヤのカナ
タイムライン	西暦30年3月中旬 (第2月)
イエスの生涯	ステージ III: 初期ユダヤ教宣教
	B. 弟子作りの輝かしい最初の週
タイトル	5. 7日目: イエスが最初の奇跡を起こす

注: このテキストにあるイエスの言動は、それぞれその言葉に関する解説と適用へのリンクです。時間があれば、これらのリンクをざっと読んでみてください。これらのイエスの言動は真実と恩恵に満ちており、注意深く検討し、熟考する価値があります。解釈が難しいものもあります。リンクにある説明が、その意味をより明確に理解するのに役立つことを願っています。

コメント :

の弟子作りの宣教活動の最初の週を輝かしく締めくくる日でした。この日には、イエスが説く弟子としての生き方のもう一つの重要な側面が明らかにされました。また、4つの福音書に記されている35の奇跡のうち最初の奇跡も紹介されました。イエスは40か月の宣教活動の間に、この35の奇跡ほど福音書に詳しく記されていない、数百、いや数千の治癒と解放の奇跡を起こしました。

弟子としての歩みは、信仰によってイエスに従うことを最初に決意したときに始まることを私たちは見してきました。7日目は、イエスが私たちに彼の栄光をますます明らかにしてくださるにつれて、弟子としての歩みは、ますます大きな信仰へと成長していく絶え間ない過程であるべきであることを示しています。主が弟子としての歩みによって、弟子の数の継続的な増加を意図しておられるように、主は個々の弟子が主に対するより大きな信仰へと成長し続けることを意図しておられます。したがって、ヨハネは7日目の記述を次のように要約しています。

「イエスがガリラヤのカナでなさったことは、イエスがご自身の栄光を現された最初のしるしでした。そして弟子たちはイエスを信じた。」

イエスはベタニアでの4日目、啓示の門が開かれ、世の光であるイエスを通して光が注がれると「天が開かれる」と約束して終わりました。神人としてのイエスの栄光の啓示は、イエスへの信仰をさらに深

第三段階 初期ユダヤ教宣教

めることになります。イエスが約 600 リットルの古くなった水を、地球上で味わったことのない最もおいしいワインに簡単に変えたことは、さまざまな意味でイエスの栄光の啓示でした。

「世の罪を取り除く神の子羊」としての栄光を現されました。イエスは、罪を洗い流すことのできない6つの儀式用の清めの壺の中の水を、聖書で血の主な象徴であるワインに変えました。イエスの血は、すべての不義から清めます。

2. イエスは、水を瞬時にワインに変えることで、創造主としての栄光を現しました。創造主として、イエスは、天地創造以来のすべてのワインの生産に必要な水、土、栄養、ブドウ、日光、そして時間を創造しました。それはすべて、イエスの創造の天才と力の産物です。

しかし、水からワインを瞬時に作り出すプロセスを加速することで、イエスは創造主としての栄光を奇跡的な方法で示しました。言葉で創造物を瞬時に生み出した方は、ワインも一瞬のうちに生み出すように命じました。これは創造主である神だけができることです。奇跡は、イエスが行ったように実行できるのは三位一体の神だけであることを示す神聖な証拠です。

3. イエスは、神の恵みと力で人間の必要を満たすことによって、ご自身の栄光を現されました。これは三位一体の愛の象徴です。必要なものが「尽きる」ことは、イエスが栄光の豊かさに応じて私たちの必要を満たしてくださいという、イエスの恵みを体験する扉が開かれることです。

4. イエスはマリアと召使たちの従順な信仰を通して、ご自身の栄光を現されました。これはイエスに従う弟子たちのトレードマークです。従順は他の何物にも増して信仰を成長させます。弟子の重要な姿勢はマリアによって表現されました。「主が何をおっしゃっても、それを実行してください。」6語でこれほど良いアドバイスは他にありません。

5. イエスは、必要以上に質（「あなたは、最上のワインを最後まで取っておかれたのです…」）と量を提供することで、その栄光を現されました。イエスはこう言われました。「私は、彼らが永遠の命を得るため、しかもそれが圧倒的に豊かに得られるために来たのです！」

6. イエスは、結婚式の象徴を通してその栄光を現されました。花嫁、花婿、そして「小羊の結婚の晩餐」のイメージは、ヨハネの神学と著作における重要な概念です。ヨハネがこのしるしの奇跡（彼の福音書にある7つの奇跡のうちの1つ）を選んだのは偶然ではありません。イエスは花婿であり、教会は花嫁であり、イエスの結婚披露宴が近づいています。

7. このしるし（およびヨハネによる福音書の7つのしるし奇跡すべて）は、イエスの死と復活という究極のしるしを指し示すことによって、イエスの栄光を明らかにしました。イエスはまもなく、ヨハネによる福音書2章29「節で、そのしるしがご自身の身分の究極の証拠であると宣言します。ヨハネは、奇跡が3日目」（4日目から）に起こったと告げることで、この奇跡の側面を強調しました。

第三段階 初期ユダヤ宣教

最初の 5 人の弟子たちは、すでにイエスを信じていたにもかかわらず、この奇跡の結果として「イエスを信じた」のです。これは新しい信仰ではなく、より強く、より深い信仰でした。イエスの栄光を見ると、必然的にイエスへの信仰が強まります。これが、イエスが弟子作りの第 1 週を、弟子になるということはイエスへの信仰を絶えず成長させるプロセスであるという教訓で締めくくった理由です。

応用：

イエスは、同じプロセス、つまり必要性の認識、祈り、神の言葉、信仰、従順を通して、私たちの必要をすべて満たしてください。このプロセスは、私たちの必要を常に超える神の恵み深い備えを通して神の栄光を明らかにします。イエスが私たちに完全な従順をもたらすとき、それはまた私たちの信仰を強め、神の証言が世界に伝わります。「イエスは、今日も、昨日も、いつまでも同じです。」ヘブライ人への手紙 13:8

あなたの必要を無駄にしないでください。祈りの中でイエスにそれらを捧げてください。「彼があなたに言うことは何でも行ってください。」完全な従順をもって信仰を伸ばしてください。彼の備えを信頼してください。彼があなたにご自身を現すとき、彼の栄光を宣言してください。

今日は、イエス様にどんな必要を持ち寄りますか？